

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

Information

参加者・演題募集中

研究助成金 中西睦子看護学 先端的研究基金 第1回(平成28年度) 研究助成候補者募集

5月23日～8月23日

助成
公募

募集期間：5月23日(月)～8月23日(火) 当日必着

主旨：わが国の看護の質的向上を通じ、国民の保健医療福祉の向上に寄与することを趣旨として、保健医療福祉施設および地域などにおいて、看護実践の成果の可視化および理論化を図ろうとする看護師に対して研究助成金を支給し、これらの者の研究を援助することを目的とする。

助成金交付予定額および助成金使用期限：1件200万円以内、約5人に交付予定

※助成金使用期限は研究終了時まで(最長3年)
応募資格：次のすべての条件を満たす者

①日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師
②修士・博士の学位を有する現場の看護職(個人またはグループ)で、実践の成果の可視化、もしくは理論化を図ろうとする研究を行なおうとするもの

③これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者

助成金受給者の義務：

①研究成果の報告書(会計報告書

を含む)を受給後3年以内に受託者に提出。

②研究終了時には、論文要旨の写しを受託者に提出。

③研究論文を公表する場合には、「この研究は、公益信託中西睦子看護学先端的研究基金より助成を受けた」旨を記載すること。

④当公益信託の運営委員会で研究成果の報告することがある。

審査方法ならびに通知：当公益信託の運営委員会で書類審査のうえ、11月頃に志望者に結果を通知。

助成金交付期日は2016年12月(予定)

応募方法：所定の申請書(ウェブサイトでダウンロード)にて、志望者が、受託者宛に直接郵送

〒105-8574

東京都港区芝3-33-1

三井住友信託銀行リテール受託業務部公益信託グループ 公益信託

中西睦子看護学先端的研究基金申請口

〒03-5232-8910
(平日9～17時)

http://www.sntb.jp/personal/entustment/management/public/example/list.html

在宅ケア・訪問看護

第18回日本在宅医学会 大会・第21回日本在宅 ケア学会学術集会 合同大会

7月16～17日/東京

参加者
募集

日時：7月16日(土)・17日(日)

会場：東京ビッグサイトTFTビル(東京都江東区)

プログラム：

7月16日(土)

特別講演「訪問看護の原点」佐藤美穂子(日本訪問看護財団常務理事)／メインシンポジウム「これからの訪問看護と在宅ケアの未来」宇都宮宏子(在宅ケア移行支援研究所)宇都宮宏子オフィス・中村順子(秋田大学教授)・秋山正子(白十字訪問看護ステーション統括所長、暮らしの保健室室長)・佐藤美穂子／市民公開講座「そうだ、在宅育てよう、この町に」徳永進(野の花診療所院長)

7月17日(日)

市民公開シンポジウム「自分らしく旅立つために」上野千鶴子(社会学者、東京大学名誉教授、ウィメンズアクションネットワーク理事長)・秋山正子・辻彼南雄(水道橋東口クリニック院長、ライフケアシステム代表理事)

対象：在宅医療に関わるすべての職種

参加費：(当日申込)

医師、歯科医師、企業(会員)

1万7000円、非会員1万8000円

コメディカル、介護専門職、一般(会員)8000円、非会員9000円

大学院生を除く学生3000円

大学院生を除く学生3000円

関プロコムインターナショナル
〒135-0063
東京都江東区有明3-6-11
TFTビル東館9階
TEL 03-5520-8821
FAX 03-5520-8820
Eメール zaitaku-joint@procom.jp
http://www.procom.jp/zaitaku-joint2016/program.html

介護実践

介護プロフェッショナル
キャリア段位制度
評価者(アセッサー)講習
第2期受講者募集／
全国20会場

9月中旬～11月8日

受講生
募集

講習期間：9月中旬～11月8日(火)

集合講習：11月8日(火)
集合講習会場：青森、福島、栃木、茨城、群馬、東京、神奈川、富山、長野、静岡、愛知、大阪、奈良、鳥取、広島、山口、高知、福岡、熊本(変更等可能性あり)、沖縄

申込期間：5月31日～8月6日

申込方法：ウェブサイトの講習申込フォームからの申込

講習内容：テキスト学習、eラー

7/8月予定
日本訪問看護財団
2016年度研修

受講者募集

7/8月/高知・東京

1. 精神障がい者の在宅看護セミナー(精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たすセミナー)

日時: 8月26/28日(日) 3日間・20時間以上の研修

会場: 高知県立大学(高知市)

対象: 精神科訪問看護に従事する看護職員、作業療法士等

ねらい: 地域で暮らす精神障がい者と信頼関係を築き、医療の継続支援や病状悪化の早期対応などを

含め、精神科訪問看護の知識・技術を習得する

プログラム: 精神保健福祉の現状と動向/精神科訪問看護の動向と報酬・制度の活用/精神障がい者の病態・薬物療法/精神科訪問看護の基礎・アセスメント/病状悪化の早期発見・危機介入/利用者との信頼関係/精神科訪問看護の実際/利用者・家族を地域で支えるための多職種連携

講師: 望月聡一郎(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課心の健康支援室)・山崎正雄(高知県精神保健福祉センター所長、精神科専門医)・萱間真美(聖路加国際大学教授)・田井雅子(高知県立大学看護学部精神看護学教授)・鈴木孝典(高知県立大学社会福祉学部准教授・吉野百合(松山記念病院事務長、精神

科認定看護師)・白石賢吾(松山記念病院精神科認定看護師)・佐藤美穂子(財団常務理事)

受講料: 会員2万円 非会員4万円

※全講義受講者には修了証発行

2. 小児訪問看護の実践力向上と普及のための研修

日時: 8月27・28日(日)

会場: アクセス青山フォーラム(東京都港区)

対象: 小児訪問看護に従事する看護師

定員: 40名

ねらい: 小児の退院時支援および、小児訪問看護に必要な知識・技術とくに呼吸と栄養の管理ができる/家族を理解し、支援ができる/医療ケアを必要とする障がい児とその家族を地域で支えるために保健・医療・福祉・教育等の社会資源を活用した支援ができるようになること

プログラム: 障がい保健福祉の施策と動向及び制度の活用/小児の退院支援の実際/小児訪問看護の実践と多職種協働、ネットワーク化/小児疾患の理解/小児のフィジカルアセスメントと救命処置/呼吸および栄養に関する技術の演習(シミュレーション使用)

講師: 田中真衣(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室、障害福祉専門官・雨宮馨(さいわいこどもクリニック非常勤医師)・岡田たみえ(東京都立大塚病院看護

部看護支援部門周産期退院支援コーディネーター看護師・佐藤友美(埼玉医科大学総合医療センター)小児救急看護認定看護師・田中道子(財団立あすか山訪問看護ステーション所長、訪問看護認定看護師)

ファシリテーター: 佐藤知美・鈴木恵子(いずれも東京都立大塚病院新生児集中ケア認定看護師)・佐藤友美・齊藤泰子・小松恭仁子(いずれもあすか山訪問看護ステーション訪問看護師)

受講料: 会員1万5000円、非会員3万円

【以下1〜2共通】
日本訪問看護財団
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-8-2
日本看護協会ビル5F
☎03-5778-7005
(研修担当)
☎03-5778-7009
<http://www.jvnr.or.jp/>

ニング受講、トライアル、内部評価、集合講習
受講料: 1万8500円+税(別途1200円+税の取扱手数料)
※都道府県により受講費用の助成がある場合があります

問 一般社団法人シルバサービス振興会

〒105-0003
東京都港区西新橋5-25-33
NP御成門ビル6階
☎03-5402-4882
(午前10時〜午後5時、土日祝休)

公益社団法人
愛知県看護協会
訪問看護認定看護師
教育課程
2017年度受講生募集

入学説明会
10月11日/10月28日/愛知
出願期間: 10月11日(火)〜28日(金)
試験日: 11月13日(日)
教育期間: 2017年5月〜2018年3月(講義・金・土・演習・木・金・土、実習: 月々金)
※仕事を継続しながら受講ができます。
定員: 20名
入学説明会V
日時: 8月6日(土) 14〜15時30分
会場: 公益社団法人愛知県看護協会

内容: 教育課程の説明 修了生・受講生との交流、個別相談など
申込締切: 8月3日(水)
申込方法: ウェブサイトから申込書をダウンロードし、郵送またはファックス
問 公益社団法人愛知県看護協会
〒466-0054
愛知県名古屋市中昭和区円上町26番18号
☎052-871-0761
☎052-871-0757
<http://www.aichi-kangokyo.kai.or.jp/>